




<p>国語辞典</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ことば」の意味、使い方、漢字などを知ることができる。 ・「ことば」は、ひらがなまたはカタカナで、「あいうえお」順にならべられている。 	<p>『例解学習国語辞典』 小学館 『レインボー小学国語辞典』 学習研究社 『三省堂例解小学国語辞典』 三省堂</p>
<p>漢字辞典 漢和辞典</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み、意味、使い方、部首、画数を知ることができる。 ・「部首から」「読みから」「画数から」の3通りの調べ方があるので、その漢字が読めなくても調べることができる。 	<p>『例解学習漢字辞典』 小学館 『レインボー小学漢字辞典』 学習研究社 『三省堂例解小学漢字辞典』 三省堂</p>
<p>ことわざ辞典 語源辞典 方言辞典 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる「ことば」によって、専門の辞典がいろいろある。 ・たいていの辞典は、「ことば」が「あいうえお」順にならべられている。 	<p>『三省堂こどもことわざじてん』 三省堂 『たのしくわかることばの辞典』 (語源・ことわざなど)小峰書店</p>
<p>人名事典 人物事典</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の業績、出身地、^{せいぼつねん}生没年、エピソードなどについて調べることができる。 ・外国人の場合は、セカンドネーム(姓=^{せい}名字)から引く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>例) ウォルト(名前)・ディズニー(姓) →“ディズニー”で引く</p> </div>	<p>『21世紀こども人物館』小学館 『日本史有名人物事典』 PHP 研究所 『目でみる日本人物百科』 日本図書センター 『人物 20 世紀』 講談社</p>
<p>地理地名事典 地図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の名前、場所、様子などを知ることができる。 ・各国、各県の人口、歴史、産業などを知ることができる。 	<p>『世界の地理』 『日本の地理』 朝日新聞社 『都道府県別日本の地理データ マップ』 小峰書店</p>
<p>^{ねんかん}年鑑 統計資料集</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の産業、貿易、人口などのデータ・情報を数量的にグラフや図でみることができる。 ・年鑑は、その年の新しい情報・データを知ることができる。 	<p>『朝日ジュニア百科年鑑』 朝日新聞社 『日本のすがた』 矢野恒太記念会</p>

目次・索引について知ろう

・「調べたいこと」をより早く確実に探すためには、「^{もくじ}目次」「^{さくいん}索引」を使います！

◆まず、^{もくじ}目次をみてみよう！

目次：その本にどんなことが書いてあるのか、だいたいの内容がわかります。

- ① 本の始めの部分にあります。
- ② その本に書いてある内容・記事の見出しが、書いてある順序にならべられ、そのページ数が書いてあります。

こんちゆう ず かん
「昆虫図鑑」を
みてみよう！



目次	
1、 <u>チョウのなかま</u> ……………	12
①アゲハチョウのなかま…	14
②モンシロチョウの生活…	18
……	
2、カブトムシのなかま…	62

「調べたいこと」が、目次に
なくても、あきらめない！

◆^{さくいん}索引をみてみよう！

索引：「調べたいこと・調べたいものの名前」がわかっているならば、それがどのページに書いてあるかがわかります。

- ① たいてい本の後方にあります。
- ② その本に書いてある内容のおもなことばが「あいうえお」順にならべられ、ページ数が横に書いてあります。

ページがいくつも書いてあるときは、**太字**のページにくわしく書いてある、ということだよ！

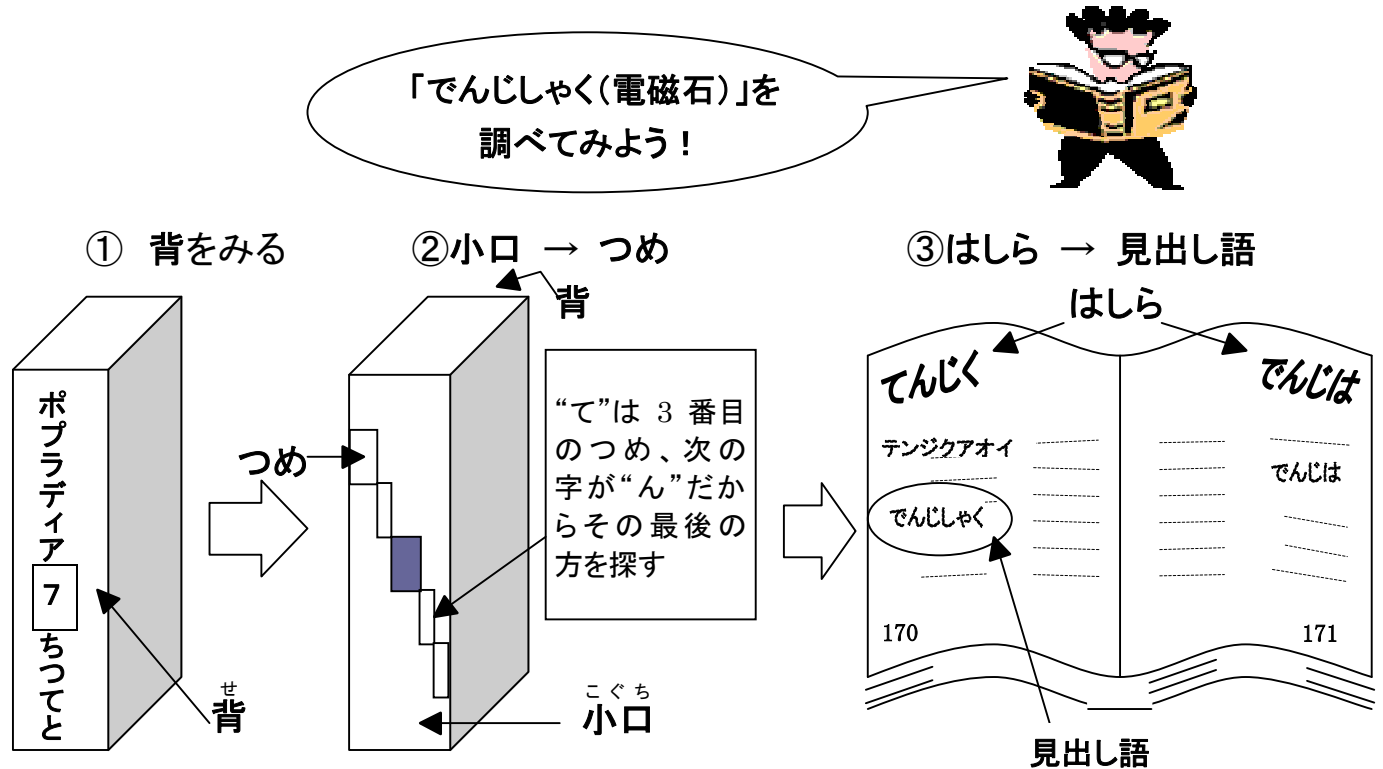
索引	
<あ>	
<か>	
こぐま座 ……	34, 37, 112
ゴースト ……	157
こと座 ……	58 , 61, 120

百科事典を使いこなそう！

- ・「調べたいこと・ものの名前」がわかっているときは、まず百科事典で探そう！

◆百科事典の引き方 ……百科事典などで調べることを、「引く」といいます。

- ・多くの百科事典は、ことばが「あいうえお」順にならべてあります。
- ・その「ことば」を「見出し語」といいます。「見出し語」は、太字で書いてあり、続いて説明があります。



- ① 本の背を見て、「て」の入っている巻をとります。
- ② 本の小口(背の反対側)を見て、つめ(「ち・つ・て・と・な」ごとについている色のしるし)から、「て」の部分を見つけます。
- ③ 本を開いて、はしら(ページの左上・右上の4文字)をみながらさがしていきます。

◆百科事典の特色

- ・たくさんのことばが収められているので、何冊(1巻・2巻……)にもわかれていて、最後のほうに「索引」だけの巻があります。→「総索引」といいます。
- ・目次はありません。調べたいことばが見つからないときは、索引を見ましょう。

例) “ツルレイシ”を調べる ⇒ 百科事典を引いても“ツルレイシ”が見出し語にない
⇒ 索引を調べる ⇒ “ツルレイシ→にがうり(ゴーヤ)”とのっている。